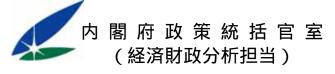
# 景気ウォッチャー調査

**Economy Watchers Survey** 

平成22年6月調査結果

平成 22 年 7 月 8 日



# 今月の動き(6月)

6月の現状判断 D I は、前月比 0.2 ポイント低下の 47.5 となり、2 か月連続で低下した。

家計動向関連DIは、環境対応車への購入補助・減税の効果が続いているものの、薄型テレビの家電エコポイント対象商品の変更による駆け込み需要の反動で家電販売が鈍化していること等により、横ばいとなった。企業動向関連DIは、受注や出荷が持ち直しているものの、その伸びの鈍化が一部でみられることや、販売価格の引下げ圧力が強いこと等から、低下した。雇用関連DIは、正規職員の採用を中心に企業の慎重な態度が続いているものの、一部での新規求人の増加があること等から、上昇した。

6月の先行き判断 D I は、前月比 0.4 ポイント低下の 48.3 となった。

先行き判断DIは、住宅購入における低価格志向の強まり等、慎重な購入態度に対する懸念や、環境対応車への購入補助・減税の効果が弱まることに対する懸念等から、家計部門を中心に低下した。

以上のことから、今回の調査結果に示された景気ウォッチャーの見方は、「景気は、厳 しいながらも、持ち直しの動きがみられる」とまとめられる。

# 目 次

調査の概要	2
利用上の注意	4
DIの算出方法	4
調査結果	5
I . 全国の動向	6
1.景気の現状判断DI	6
2 . 景気の先行き判断DI	7
Ⅱ.各地域の動向	8
1.景気の現状判断DI	8
2 . 景気の先行き判断DI	10
. 景気判断理由の概要	12
(参考)暑気の現状水準判断DT	25

#### 調査の概要

#### 1.調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動 向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

#### 2.調査の範囲

#### (1) 対象地域

北海道、東北、北関東、南関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄の11地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。(なお、平成12年1月調査の対象地域は、北海道、東北、東海、近畿、九州の5地域、平成12年2月調査から9月調査までの対象地域は、これら5地域に関東を加えた6地域である。)

坩	边域		都道府県						
北海道		北海道	1						
東北		青森、	岩手、	宮城、	秋田、	山形、	福島、	新潟	
関東	北関東	茨城、	栃木、	群馬、	山梨、	長野			
	南関東	埼玉、	千葉、	東京、	神奈川				
東海		静岡、	岐阜、	愛知、	三重				
北陸		富山、	石川、	福井					
近畿		滋賀、	京都、	大阪、	兵庫、	奈良、	和歌山	1	
中国		鳥取、	島根、	岡山、	広島、	山口			
四国		徳島、	香川、	愛媛、	高知				
九州		福岡、	佐賀、	長崎、	熊本、	大分、	宮崎、	鹿児島	
沖縄		沖縄							
全国		上記σ	計						

#### (2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した 2,050 人を調査客体とする。調査客体の地域別、分野別の構成については、「IV.景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成」を参照のこと。

#### 3.調查事項

- (1) 景気の現状に対する判断(方向性)
- (2) (1)の理由
- (3) (2) の追加説明及び具体的状況の説明
- (4) 景気の先行きに対する判断(方向性)
- (5) (4)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断(水準)

## 4.調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から月末である。

## 5.調査機関及び系統

本調査業務は、内閣府が主管し、下記の「取りまとめ調査機関」に委託して実施している。 各調査対象地域については、地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」が担当しており、「取 りまとめ調査機関」において地域ごとの調査結果を集計・分析している。

(取りまとめ調査機関)		三菱UFJリサーチ&コンサルティング
		株式会社
(地域別調査機関)	北海道	株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東北	財団法人 東北活性化研究センター
	北関東	株式会社 日本経済研究所
	南関東	株式会社 日本経済研究所
	東海	三菱UFJリサーチ&コンサルティング
		株式会社
	北陸	財団法人 北陸経済研究所
	近 畿	りそな総合研究所株式会社
	中国	社団法人 中国地方総合研究センター
	四国	四国経済連合会
	九州	財団法人 九州経済調査協会
	沖 縄	財団法人 南西地域産業活性化センター

## 6 . 有効回答率

地域	調査客体	有効 回答客体	有効 回答率	地域	調査客体	有効 回答客体	有効 回答率
		4444四	凹合平			4444四	凹合平
北海道	130 人	114 人	87.7%	近畿	290 人	265 人	91.4%
東北	210 人	194 人	92.4%	中国	170 人	167 人	98.2%
北関東	200 人	174 人	87.0%	四国	110人	92 人	83.6%
南関東	330 人	304 人	92.1%	九州	210 人	182 人	86.7%
東海	250 人	221 人	88.4%	沖縄	50 人	42 人	84.0%
北陸	100人	96 人	96.0%	全国	2,050人	1,851人	90.3%

## 利用上の注意

- 1.分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。
- 2.表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

## DIの算出方法

景気の現状、または、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、DIを算出している。

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
評価	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	(良い)	(い身かか)	(どちらとも いえない)	(かき悪い)	(悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

## 調査結果

- I. 全国の動向
  - 1. 景気の現状判断 D I
  - 2.景気の先行き判断DI
- II. 各地域の動向
  - 1. 景気の現状判断 D I
  - 2.景気の先行き判断DI
- (参考)景気の現状水準判断DI

#### (備考)

- <sup>制气)</sup> . 景気判断理由の概要 全国」( 12 頁 ) は、「現状」、「先行き」ごとに区分した 3 分野 (「家 計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」)に該当する地域の特徴的な判断理由を選択し、 5 つの回答区分(「良」、「やや良」、「不変」、「やや悪」、「悪」)ごとに判断が良い順に掲載した。
- 2.「現状判断の理由別(着目点別)回答者数の推移」(13頁)は、全国の「現状判断」の回答のうち3分野それぞれについて、5つの回答区分の中で回答者数の多い上位3区分(雇用関連は上位2区分)の判断理由として特に着目した点について、直近3か月分の回答者数を掲載した。
- 3.14~24 頁は、各地域の景気判断理由の要約である。そのうち、「現状」欄は、地域の「現状判断」の回答のうち、3分野それぞれについて、5つの回答区分の中で回答者数が多かった上位 3 区分(雇用関連は上位 2 区分)を上から順に掲載している。掲載されている各コメントは、それら上位回答区分の中における代表的な回答である。「その他の特徴コメント」欄は、「判断の理由」欄に掲載されたもの以外で、特徴と考えられるコメントを掲載した。また、「先行き」欄は3分野それぞれについて、5つの回答区分の中で回答者数が多かった上位 2 区分(雇用関連は上位 1 区分)を上から順に掲載している。掲載されている各コメントは、それらにおける代表的な回答である。なお、「その他の特徴コメント」欄は「現状」と同様である。

## 1.全国の動向

## 1.景気の現状判断 D I

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断DIは、47.5となった。雇用関連のDIは上昇し、家計動向関連のDIは変わらなかったものの、企業動向関連のDIが低下したことから、前月を0.2ポイント下回り、2か月連続の低下となった。また、横ばいを示す50を39か月連続で下回った。

図表1 景気の現状判断DI

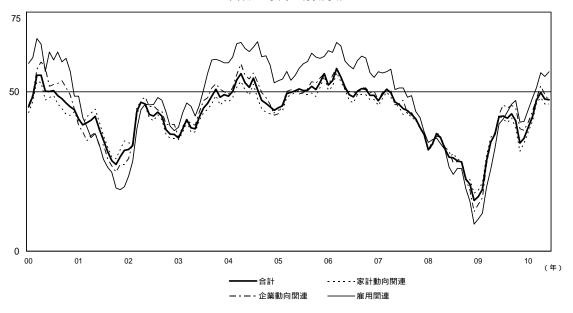
(DI)	牛	2010						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		38.8	42.1	47.4	49.8	47.7	47.5	(-0.2)
家計動向関連	Į.	37.4	40.6	46.5	48.2	46.2	46.2	(0.0)
小売関連		36.8	40.6	45.8	47.1	46.6	46.8	(0.2)
飲食関連		32.7	36.0	44.9	48.1	43.3	40.7	(-2.6)
サービス関	引連	39.3	42.1	48.1	50.9	46.6	47.1	(0.5)
住宅関連		38.6	39.7	47.6	45.8	44.4	43.6	(-0.8)
企業動向関連	Ē.	40.4	43.8	48.0	51.8	49.1	47.3	(-1.8)
製造業		42.1	45.0	49.2	53.9	52.6	48.4	(-4.2)
非製造業		39.0	43.1	47.3	50.3	46.3	46.6	(0.3)
雇用関連		44.3	48.0	51.3	56.0	54.8	56.3	(1.5)

図表 2 構成比

	年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	DΙ
•	2010	4	1.1%	26.6%	49.4%	16.2%	6.7%	49.8
		5	1.4%	22.0%	50.8%	18.1%	7.8%	47.7
		6	0.9%	20.6%	52.6%	19.3%	6.6%	47.5
	(前月差)		(-0.5)	(-1.4)	(1.8)	(1.2)	(-1.2)	(-0.2)

(DI)

図表3 景気の現状判断DI



## 2.景気の先行き判断DI

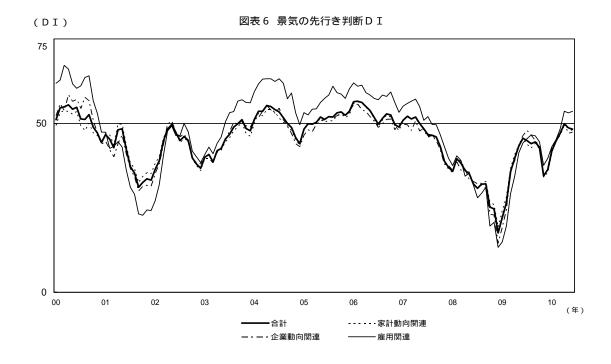
 $2 \sim 3$  か月先の景気の先行きに対する判断 D I は、48.3 となった。企業動向関連、雇用関連の D I は上昇したものの、家計動向関連の D I が低下したことから、前月を 0.4 ポイント下回り、 2 か月連続の低下となった。また、横ばいを示す 50 を 37 か月連続で下回った。

図表4 景気の先行き判断DI

(DI)	年	2010						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		41.9	44.8	47.0	49.9	48.7	48.3	(-0.4)
家計動向関連	Ē	41.4	44.6	47.0	49.3	48.6	47.8	(-0.8)
小売関連		40.4	43.3	46.8	49.5	48.5	47.8	(-0.7)
飲食関連		40.2	46.3	48.3	48.9	43.5	46.7	(3.2)
サービス関	]連	43.6	47.2	47.8	49.6	50.8	49.4	(-1.4)
住宅関連		41.9	43.4	43.7	47.1	44.7	42.6	(-2.1)
企業動向関連	Ē	42.8	45.0	46.4	49.7	47.1	47.4	(0.3)
製造業		44.7	45.5	48.3	50.5	47.9	47.9	(0.0)
非製造業		41.4	44.6	44.7	49.2	46.3	47.0	(0.7)
雇用関連		43.1	45.2	48.3	53.6	53.1	53.6	(0.5)

図表 5 構成比

年	月	良くなる	やや良く なる	変わらない	やや悪く なる	悪くなる	DΙ
2010	4	1.0%	24.1%	54.4%	14.1%	6.3%	49.9
	5	1.7%	19.6%	56.7%	15.6%	6.4%	48.7
	6	0.9%	19.9%	56.5%	16.9%	5.8%	48.3
(前月差)		(-0.8)	(0.3)	(-0.2)	(1.3)	(-0.6)	(-0.4)



## II. 各地域の動向

## 1.景気の現状判断DI

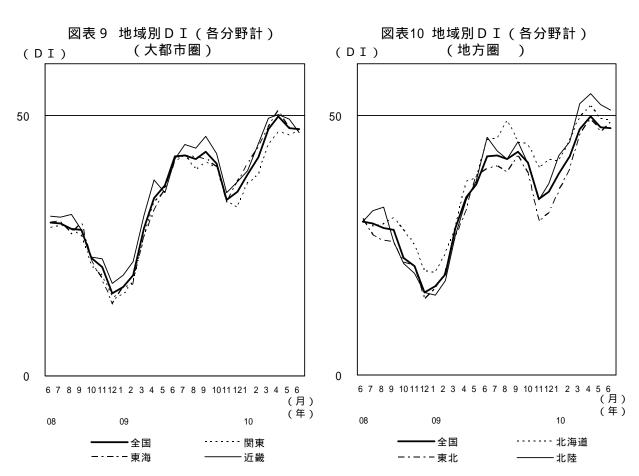
前月と比較しての現状判断 D I (各分野計)は、全国 11 地域中、 4 地域で上昇、 7 地域で低下した。最も上昇幅が大きかったのは沖縄(2.5 ポイント上昇) 最も低下幅が大きかったのは近畿(2.7 ポイント低下)であった。

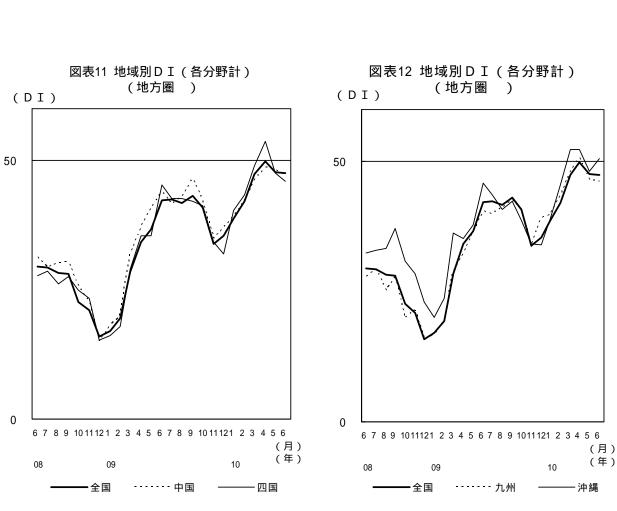
図表7 景気の現状判断DI(各分野計)

(DI)	年	2010						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
全国		38.8	42.1	47.4	49.8	47.7	47.5	(-0.2)
北海道		41.2	45.1	49.6	51.7	49.4	48.9	(-0.5)
東北		35.3	39.5	46.2	49.4	46.8	48.6	(1.8)
関東		37.0	38.6	44.4	46.9	46.3	47.2	(0.9)
北関東		36.6	38.3	43.4	47.5	46.5	47.3	(0.8)
南関東		37.2	38.8	45.0	46.6	46.2	47.2	(1.0)
東海		40.7	43.9	47.8	51.0	47.6	47.2	(-0.4)
北陸		42.3	45.0	52.3	54.3	52.1	51.0	(-1.1)
近 <del>畿</del>		39.4	44.6	49.5	50.2	49.4	46.7	(-2.7)
中国		39.1	42.1	46.2	48.6	48.2	47.2	(-1.0)
四国		40.3	43.3	48.9	53.7	47.5	45.9	(-1.6)
九州		39.7	43.4	47.9	50.7	46.5	46.3	(-0.2)
沖縄		39.1	45.5	52.4	52.4	48.1	50.6	(2.5)

図表8 景気の現状判断DI(家計動向関連)

(DI)	年	2010						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
全国		37.4	40.6	46.5	48.2	46.2	46.2	(0.0)
北海道		42.8	45.7	50.9	50.9	47.5	49.4	(1.9)
東北		34.3	38.4	45.4	46.9	44.3	48.3	(4.0)
関東		35.8	36.6	43.5	46.3	46.1	46.5	(0.4)
北関東		34.1	35.6	41.6	45.9	45.3	45.4	(0.1)
南関東		36.8	37.3	44.7	46.5	46.6	47.2	(0.6)
東海		38.2	43.0	45.9	47.7	44.5	45.1	(0.6)
北陸		40.7	42.4	50.4	53.7	50.0	48.1	(-1.9)
近畿		38.3	43.2	49.3	48.2	48.1	45.5	(-2.6)
中国		35.9	39.1	44.7	45.9	46.3	44.4	(-1.9)
四国		38.6	41.9	46.4	51.2	44.7	44.0	(-0.7)
九州		38.0	42.0	47.3	49.8	45.6	44.9	(-0.7)
沖縄		37.5	47.0	54.0	52.9	47.0	49.1	(2.1)





## 2. 景気の先行き判断DI

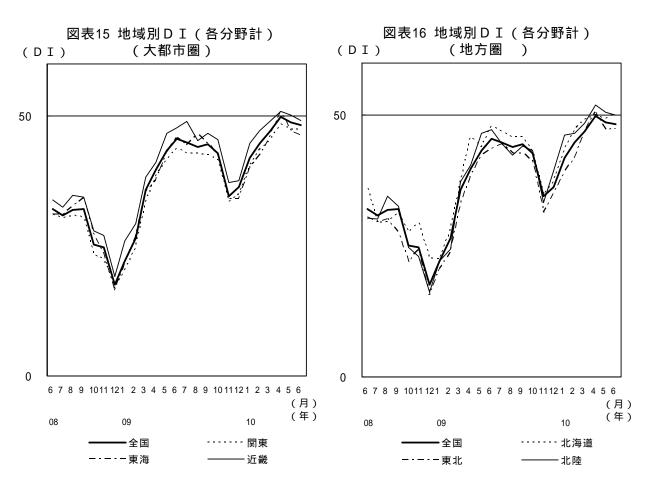
前月と比較しての先行き判断 D I (各分野計)は、全国 11 地域中 6 地域で上昇、 5 地域で低下した。最も上昇幅が大きかったのは沖縄 (2.7 ポイント上昇 ) 最も低下幅が大きかったのは四国 (6.1 ポイント低下 )であった。

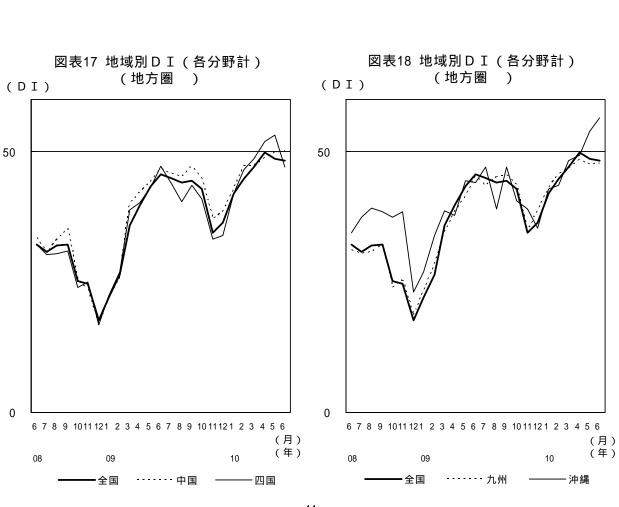
図表 13 景気の先行き判断 D I (各分野計)

(DI)	年	2010						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
全国		41.9	44.8	47.0	49.9	48.7	48.3	(-0.4)
北海道		43.4	47.2	49.1	50.0	49.4	50.4	(1.0)
東北		39.2	41.6	47.1	50.6	47.3	47.4	(0.1)
関東		40.3	43.5	45.2	48.5	47.3	47.3	(0.0)
北関東		40.1	42.7	43.5	49.3	47.7	48.0	(0.3)
南関東		40.5	43.9	46.2	48.0	47.1	47.0	(-0.1)
東海		40.0	42.4	46.0	50.9	47.1	46.3	(-0.8)
北陸		46.2	46.5	48.5	52.0	50.5	50.0	(-0.5)
近畿		44.7	47.2	48.9	50.9	50.2	49.2	(-1.0)
中国		42.8	47.2	47.2	48.8	49.8	50.1	(0.3)
四国		42.0	46.6	48.6	52.0	53.1	47.0	(-6.1)
九州		43.1	45.7	46.7	48.5	47.6	47.8	(0.2)
沖縄		42.9	43.6	48.2	49.4	53.8	56.5	(2.7)

図表 14 景気の先行き判断 D I (家計動向関連)

(DI)	年	2010						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
全国		41.4	44.6	47.0	49.3	48.6	47.8	(-0.8)
北海道		44.4	47.3	49.4	49.4	48.8	51.3	(2.5)
東北		38.3	40.3	46.5	50.4	46.3	46.5	(0.2)
関東		39.7	43.3	45.9	48.6	48.2	46.5	(-1.7)
北関東		39.0	40.5	42.9	48.9	47.9	47.0	(-0.9)
南関東		40.2	45.1	47.9	48.4	48.4	46.2	(-2.2)
東海		38.6	42.3	45.4	49.5	45.4	46.4	(1.0)
北陸		43.7	46.4	48.6	53.3	50.8	50.4	(-0.4)
近畿		44.5	47.4	49.3	49.9	50.6	49.3	(-1.3)
中国		41.3	46.9	45.6	48.2	49.1	50.0	(0.9)
四国		41.1	46.2	45.2	50.8	52.5	45.6	(-6.9)
九州		44.3	46.3	47.3	47.1	47.5	45.7	(-1.8)
沖縄		45.8	44.0	50.0	49.0	55.0	57.4	(2.4)

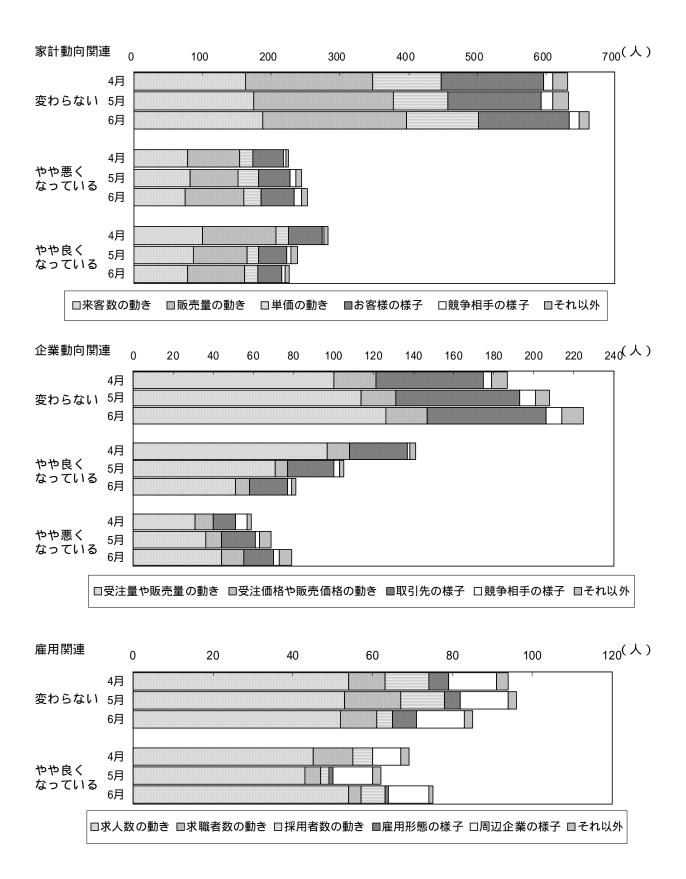




(良、 やや良、 不変、 やや悪、×悪)

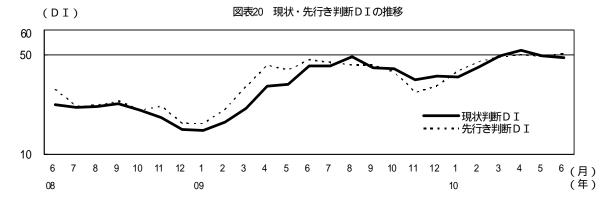
・子ども手当の玄絵により、限定的ではあるが子育で世代の消費動向がブラスに動いている(東北=スーパー)。 ・貸出台数が前年比106%と増加している。観光客のレンタカー利用が前年に比べて伸びている(沖縄=その他のサービス「レンタカー」)。 ボーナスが出ている会社もあり、繁華前の人出は増えると思われたが、増えたのはサッカーのコニホームを着た苦者だけである。サッカーワールドカップが始まってからは、繁華前は空に静かになってしまい。子親以上の影響を受けている(東海=スナック)・豪雨などの影響で来客数が伸びず、物産催事や父の日ギフトへ大きく響いた。一方、文化催事は大きな反響があった。再来場者数も多く、物板も纤調であった。また中元ギフト内見会も纤調で、オフトへの手ごたえは感じられた(九州=自居店)・今年の傾雨に高温多湿のため、エアコンが好調に動き出した。しかし、地上デジタル放・プラロの時間は高温多湿のため、エアコンが好調に動き出した。しかし、地上デジタル放・コロ音のの機関地で依然として各種ペントの中止や延期が拡入している。終息するまではイベントの自由書を促されている状況であり、厳しい(九州=テーマパーク)。・リーマンショック前の水準のり動削度までの関心によるたけ、直接と関連を関してきているもの。数か月前と比べれば、受注の伸びは落りませいでは、できたのでは、直接と乗り、一部にさきている「東海=電気機体観機関動造業)・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の押込が大半であり、現状結りが決別は続いている(九州=全船業)。・・デリスアは「マきなし、正の産者可能を持ちれている。またが、生活であり、現外を行りの調整を対している。たり、一次のでの主語等で入具をまからも12 アル・ブ内での転籍等で人具をまからも2 でいるが、発が続けが前のより、今後については池港・電業をが多い(四国=民間職業紹介機関))・先行受注酸を前年上が多の、海外旅行が前日104%となっている。国内旅行はや弱会みだが、海外旅行が野調のため、今後についてはか中食くなる(北港道=旅行代理店))・ボーナスシーズンの割に商品の動きは剣い・猛暑を開存して学館商材の在庫を抱えたいところが、先月きの不透明さから、消費者の買い対点に対抗するような領域な自動をができた。1 エコカー環入 海 制度 できる 見かでできない (北関連 ー 単の一般で表に表する。 1 エコカー関入 神印な心に 京車 1)、平常改奏とは、1 エコカー関入 神印ないに 京車 1)、平常な 受け 1 サン 9 日前後で指移している 6、第一日の 1 サン 9 日前後では 1 大行き 1 大行を 1 大行き 1 大行き 1 大行き		分野	判断	特徴的な判断理由
(東北 = スーパー)。 ・   ・     ・         ・		71 =1	7-36/1	
・貸出合数が前年比 106%と増加している。観光客のレンタカー利用が前年に比べて伸びている(沖縄・その他のサービス(レンタカー))。 ・ボーナスが出ている会社もあり、繁華街の人出は増えると思われたが、増えたのはサッカーのコニホームを着た着者だけである。サッカーワールドカップが建ってからは、繁華は近空に静かになってしまい。予想以上の影響を受けている(東海・スナック)、豪雨などの影響で来客数が伸じず、物産催事や父の日ギフトへ大きく響いた。一方、文化維事は大きな反響があった。再集者教も多く、例販長が望いるった。また中元ギフト内見会も好調で、ギフトへの手ごたえは感じられた(九州・百貨店)。 ・今年の傾雨は高温多湿のため、エアコンが労調に動き出した。しかし、地上デジタル放送が成テレビや前年好調だった/冷蔵庫などのエコポイント商品が不振で、前年比をプリアするのが厳しい状況である(北間東・家電量販店)。 ・ つ中の自動を促されている状況であり、厳しい(九州・三テマパーク)。 ・ リーマンショック前の水準の9 割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの東洗過である中国・輸送業)。中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の削減をど不透明感があるが、直近はまずまずの東洗過でかると、過去に調達した資金の折り返し資金の削減をど不透明感があるが、直近はまずまずの東洗過である中国・輸送業)。中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の削減をど不透明をがよりでは、4分月連続で前年を上回った(11池海・職送業)・・発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ違い(前関東・輸送業)・・発注量が少ないところに更能と前的でなく、過去に調達しているに、月間内効果、数は 前年から 12.7%増加し、4 か月連続で前年を上回った (12池海・職送業))・・小企業の資金調査は、2000年の前を成立に、2000年の第200年の表別を行が前年比 85%、海外旅行が前日 104%となっている。国内旅行けや鳴舎、おたが、先行をの不透明さなが野調のため、今後についてもかを収えなるに洗過音でが多い、2000年の表別を行が前年比 85%、海外旅行が前日 104%となっている。温内底が行が中といるのでない、1 下ルフスシーズンの割に商品の動きは対い、猛暑を期待して3 なら、液が洗りが高にまたい原来を見ることに不下して10 (中国・注意を入して2000年によるとので、1 下ルシの 7 中間がなども次の形式を図っているが、原本は、販売信格を表とはが過去が表とい。原本は、販売信格を表とはが過去が表とい。原本は、販売信格を表とはが過去を図っているが、2000年の大場を見ると、1 「トトル東的社会を図ったい、原料、2 中間では、2 中間				
Tいる(沖縄=その他のサービス[レンタカー]) ・ボーナスが出ている会社もあり、繁華街の人出は増えると思われたが、増えたのはサッカーのユニホームを着た着者だけである。サッカーワールドカップが始まってからは、繁華街は逆に静かになってしまい、予想以上の影響をプレている(東海=スナック)、豪雨などの影響で不容数が伸びず、物産催事や父の日ギフトへ大きく響いた。一方、文化催事は大きた好調で、ボフトへの手ごたえは感じられた(九州=百貨店)。 ・今年の傾雨は高温多湿のため、エアコンが好調に動き出した。しかし、地上デジタル放送が15アレビや前年好調だった冷範庫などのエコポイント商品が不振で、前年比をクリアするのが厳しい状況である(北西庫=家産遺版店)。 ・口蹄疫問題で依然として各種イベントの中止や延期が拡大している。終息するまではイベントの自需を促されているが次であり、厳しい(九州=テーマパーク)、・リーマンショック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向などが売時間があるが、直近はまずまずの東沢島である(十回=輸送用機械器具製造業)・前年同月と比べると良くなってを下いるものの、デフレスパイラル的な要素が非常たる。これから先、回復する見通しはまだまた道い(旬頭集=輸送業)・中小企業の資金調達は、設備向けの制造でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州=金融業)。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				
家計 前向 開連 かしている。				
繁計 動向 関連  ・				
動向 関連 ・		家計		
関連				
ト内見会も好調で、ギフトへの手でたえは感じられた(九州 = 百貨店)。				
・今年の梅雨は高温多湿のため、エアコンが好調に動き出した。しかし、地上デジタル放送対応テレビや前年好調だった冷蔵庫などのエコバイント商品が不振で、前年比をクリアするのが敵しい状況である(北関東・家電量販店) ・口蹄疫問題で依然として各種イベントの中止や延期が拡大している。終見するまではイベントの自粛を促されている状況であり、厳しい(九州=テーマパーク)。 ・リーマンショック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの景況感である(中国・輸送用機械器具製造業)。前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の仲びは落ち着いてきている(東海・電気機械器具製造業)。中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の押込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州=金融業)・発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(南関東・輸送業)・新規求人数は前年から17.4%増加し、4か月連続で前年を上回った。月間看効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った、月間看効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った、月間看効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った(北海道・職業紹介機関)・先行受注題を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比10%、海外旅行が同104%となっている。国内旅行が中38%、8月は国内旅行が前年比85%、海外旅行が同104%となっている。国内旅行が同2条と、バーナスシーズンの割に同品の動造は拠い、経事を事情で工事を耐るような強気な商売ができない(北関東=一般小売店(家電))・ボーナスシーズンの割に同品の動きは無い、通者の費に対えに対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般小売店(家電))・東に近去で新日から、海食者の費い対えて対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般小売店(家電))・東月車販売店)・大手の会社の売上が増加しており、地元店会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)・・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。銀材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国・鉄鋼業)・少しは持ち直しているの。今の販売価格は地社に負けでいるため、売上増は見込めない。販売価格を落くせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿・資料でなどの・別料で取りであり、近日を開発を図るしかない(近畿・資料であらな)、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまた時間を要する、東海・職業安定所)・新規求報者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
選対応テレビや前年が開だった冷蔵庫などのエコポイント商品が不振で、前年比をクリアするのが厳しい状況である(北関東 - 家電量販店)。 ・ 口蹄疫問題で依然として各種イベントの中止や延期が拡大している。終息するまではイベントの自粛を促されている状況であり、厳しい(九州=テーマパーク)。 ・ リーマンョック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの景況感である(中国=輸送用機械器員製造業)。 ・ 前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落ち着いてきている(東海 - 電気機械器具製造業)。 ・ 中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の押込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 - 金融業)・ 発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デリカフスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(南関東=輸送業)。 ・ 新現求人数は前年から17.4%増加し、4か月連続で前年を上回った。月間看効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。月間看効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。1間看効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。1間情初求入数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。1間情初求入数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。1間情初求入数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。1間情初求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。1時前の水子間に対し、2.7年通過の大学でが開発した。10回年民間職業紹介機関)。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				・今年の梅雨は高温多湿のため、エアコンが好調に動き出した。しかし、地上デジタル放
・口蹄疫問題で依然として各種イベントの中止や延期が拡大している。終息するまではイベントの自粛を促されている状況であり、厳しい(九州=テーマパーク)。 ・リーマシショック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの景況感である(中国=輸送用機械器具製造業)。・前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落ち着いてきている(東海=電気機械器具製造業)。・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は抗いている(九州=金融業)。・発達量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(南関東=輸送業)・新現求人数は前年から 12.7%増加し、4 か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から 12.7%増加し、4 か月連続で前年を上回った。(北海道=職業を分している。 余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・ブ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国=民間職業紹介機関)。・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比110%、海外旅行が同108%、8月は国内旅行が前年比20%、海外旅行が前のため、今後についてはや地段くなる(北海道=麻行代理店)。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは共和、猛暑を期待して季節商材の在庫を担えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般)・売店[家電])。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは共和、猛暑を期待して野道・能等を対して連直・旅行代理店)・ボーナスシーズンの割に商品の動きは共和、猛暑を期待して野道・市が落ちてくる(四国=乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。・1ドル90円前後で推移しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている「東北=広告業協会」。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転域を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄網業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料では見込めない。販売価格を落とせば利益に変わらない(中国=鉄網業)。・カル発表で表別を関するといる手間環境に関立をかり、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという整備環境に関立をかり、売料で開発と関するまでは対途を実際するまでにはまだ時間を要するの東端に対途を実際するまでにはまだ時間を要するの東端業を定所)・新規来観者が増えるなど、就職・静か客手減少しているものの、パートでは中間を要するまでにはまだ時間を要する。東端に対しているのの、原料では対しているのの、原料では対域を開発しているのでは、対域を対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対し、対域を対しないるのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しているのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しなどのでは、対域を対しているのでは、対域を対しなどのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しないるが、対域を対しないるのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しないるのでは、対域を対しな				
(大行き) ペントの自粛を促されている状況であり、厳しい(九州 = テーマバーク)。 ツーマンショック前の水準の9割程度まで回復してきている。行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの第況感である(中国 = 輪送用機械器具製造業)。 ・前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落ち着いてきている(東海 = 電気機械器具製造業)。 ・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 = 金融業)。 ・ 発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスバイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ違い(南関東 = 輸送業)。 ・ 新規求人数は前年から17.4%増加し、4か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った。(北海道 = 職業安定所)。 ・ 余剣人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換・グル・ブ内での転替等で人員をまわそうとしている。企業がまなたっといる。新夕ともに採用を控える企業が多い(四国 = 民間職業紹介機関)。 ・ 先行受注解を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比110%、海外旅行が同108%、8月は国内旅行が前年比85%、海外旅行が同104%となっている。国内旅行はやや弱含みだが、海外旅行が詳細のため、今後についてはやや良くなる(北海道 = 旅行代理店)。 ・ ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い、猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 一般小売店[家電])。 ・ 来舎数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。 ・ 大手広告会社の売上が増加しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることと期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。 ・ アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料(資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・ アジア向けなどを可しかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・ 少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・ 新規求入数はわずかながら前戸を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社長の求人が多い。正社資求の、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・ 新規求、製材が考に面りを上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社長の改善を実施するまでにはまだ時間を要する(東海・職職・大田のの、パートでは中間での文職者が増えるなど、就職・新規、対域、対域、対域、対域、対域、対域、対域、対域、対域、対域、対域、対域、対域、				アするのが厳しい状況である(北関東=家電量販店)。
・リーマンショック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの景況感である(中国 = 輸送用機械器具製造業)。 ・前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落ち着いてきている(東海 = 電気機械器具製造業)。中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 = 金融業)。・発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(南関東 = 輸送業)。・新規求人数は前年から17.4%増加し、4か月連続で前年を上回った。(用商有効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った(北海道 = 職業安定所)。・余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・プ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(回国 = 民間職業紹介機関)。・先行受証額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年と110%、海外旅行が同104%となっている。国内旅行が時間も8%。8月は国内旅行が前年106%、20歳に対抗するような強気な商売がでおい、(北海軍 = 一般小売店(家電))。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い、猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さか。消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北街東 = 一般小売店(家電))。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。・カチスでいる(東北 = 広告業協会)。・1ドル90円前後で推移しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。・カドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることと期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料・資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。・カルスの大きない、正社資表の大りない、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。・新規求入数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社 直路 対策・対象が表土減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職 新規 表述 が考え るなど、就職 新規 東端 が着 が着 大調 の求人が多い。正社資表の、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。・新規求しおが多に前日を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社 にはまだ時間を要する にはまだ時間を要する にはまだ時間を要する にはまだ時間を要するまでにはまだ時間を要するまではませいまでは、2000円では、20	現			・口蹄疫問題で依然として各種イベントの中止や延期が拡大している。終息するまではイ
企業 動向 関連 ・ 前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落ち着いてきている(東海 電気機械器員製造業)。 ・ 中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 = 金融業)。 ・ 中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 = 金融業)。 ・ 発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(南関東・輸送業)。 ・ 新規求人数は前年から17.4%増加し、4か月連続で前年を上回った、月間有効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った、月間有効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った、(北海道・職業安定所)。 ・ 余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・ブ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国 = 民間職業紹が機関)。 ・ 先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比110%、海外旅行が同104%となっている。国内旅行はやや弱含みだが、海外旅行が野調のため、今後についてはやや良くなる(北海道・旅行代理店)。 ・ ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の主権を行せ理店)ところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 一般小売店[家電])。 ・ 来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。 ・ ナコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国・乗用車販売店)。 ・ 大手広告会社の売上が増加しており、地介の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない(大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器員製造業)。 ・ アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。銅材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国= 鉄鋼業)。 ・ 少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているもの、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿・食料品製造業)。 ・ 新規求、資材の見直しやにはまだ時間を要する(東海・職業安定所)。 ・ 新規求、新報、新増えるなど、就職	状			ベントの自粛を促されている状況であり、厳しい(九州=テーマパーク)。
・前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落ち着いてきている(東海・電気機械器具製造業)。 ・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 = 金融業)。 ・発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回母する見通しはまだまだ適い(南関車・航送業)。・新規求入数は前年から17.4%増加し、4か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った(北海道=職業安定所)。・余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・ブ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国=民間職業紹介機関)。 ・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%、8 月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が前 104%となっている。国内旅行がや同 108%、8 月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104%となっている。国内旅行が市性を別るみだが、海外旅行が時のため、今後についてはや良くなる (北海道 = 旅行代理店)。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 一般小売店[家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国=住宅販売会社)・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国・乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみている(東北 = 広告業協会)。・1 ドル 90 円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95 円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。・が現求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求入の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。新規求報者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				・リーマンショック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向
### お着いてきている(東海 = 電気機械器具製造業)。 ・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 = 金融業)。 ・発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(南関東 = 輸送業)。 ・新規式人数は前年から 17.4%増加し、4 か月連続で前年を上回った(北海道 = 職業安定所)。 ・余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・ブ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国 = 民間職業紹介機関)。 ・先行受注額を前年比でみると、7 月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%、8 月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104%となっている。国内旅行はやや弱合みだが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる(北海道 = 旅行代理店)。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して参節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 般り売店[家電])。・来容数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。 ・エコカー購入補助金制度が9 月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。・1 ドル 90 円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95 円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。95 円まで戻ることを期待しているため、原料を図る価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 銭額業)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増良込めない。販売価格を落とせば対路とありまりにでいるものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。 ・新規求機者が若下減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				など不透明感があるが、直近はまずまずの景況感である( 中国 = 輸送用機械器具製造業 )。
動向 関連 ・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州 = 金融業 )。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		<b>企業</b>		・前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落
中小近来の資本調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返り資金の申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州-金融業)。 ・発注量が少ないところに更に死注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(南関東 = 輸送業)。 ・新規求人数は前年から 17.4%増加し、4 か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から 17.4%増加し、4 か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から 12.7%増加し、4 か月連続で前年を上回った。日間有効求人数は前年から 12.7%増加し、4 か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から 12.7%増加し、4 か月連続で前年を上回った。12 海で乗行り、一余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・プ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国=民間職業紹介機関)。 ・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%、8月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104%となっている。国内旅行はやや弱含みだが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる(北海道 = 旅行代理店)。 ・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 一般小売店[家電])。 ・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国=住宅販売会社)。 ・ナエコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国 = 乗用車販売店)。 ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。 ・ナドアシア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業 )・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。 新規求職者が若下減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職		-		ち着いてきている(東海=電気機械器具製造業)。
中込か大手であり、現状離片の状況は続いている (九州 = 金融業)  ・発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い (南関東 = 輸送業)  ・新規求人数は前年から 17.4%増加し、4 か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から 12.7%増加し、4 か月連続で前年を上回った (北海道 = 職業安定所)。 ・余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・ブ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い (四国 = 民間職業紹介機関)。 ・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%、8月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104%となっている。国内旅行はやや弱含みだが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる (北海道 = 旅行代理店)。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない (北関東 = 一般小売店 [家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している (中国 = 住宅販売会社)。・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国 = 乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。・1ドル 90 円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95 円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料・価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料・資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。・新規求機者だ客とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社資水人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。新規求職者が着えるなど、就職				・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の
###		闭压		申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(九州=金融業)。
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				
度用 関連 前年から12.7%増加し、4か月連続で前年を上回った(北海道=職業安定所)。 ・余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・プ内での転籍等で人員を まわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国=民間 職業紹介機関)。 ・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比110%、海外旅行が同108%、8月は国内旅行が前年比85%、海外旅行が同104%となっている。国内旅行はやや弱合 みだが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる(北海道=旅行代理店)。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般小売店[家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 年刑事販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸=一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。銅材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼半)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
・余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・ブ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国=民間職業紹介機関)。 ・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%。8月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104%となっている。国内旅行はやや弱るみだが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる(北海道=旅行代理店)。・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般小売店[家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国=住宅販売会社)。・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国=乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸=一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
関連 ・				, ,
まわそうとしている。従って、中速・新卒ともに採用を控える企業が多い(四国 = 民間職業紹介機関)。 ・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%、8月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104%となっている。国内旅行はやや弱含みだが、海外旅行が前のため、今後についてはやや良くなる(北海道 = 旅行代理店)。 ・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 一般小売店[家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国 = 乗用車販売店)。・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・				
・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%、8月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104%となっている。国内旅行はやや弱含みだが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる(北海道=旅行代理店)。 ・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般小売店[家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国=住宅販売会社)。・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国=乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。 ・1ドル 90 円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95 円まで戻ることを期待している(北陸=一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。網が価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
8月は国内旅行が前年比85%、海外旅行が同104%となっている。国内旅行はやや弱含みだが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる(北海道=旅行代理店)。 ・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い、猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般小売店[家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国=住宅販売会社)。・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国=乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸=一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				·
### おおが、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる(北海道=旅行代理店)  ・ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東=一般小売店[家電])。 ・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国=住宅販売会社)。 ・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国=乗用車販売店)。 ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。 ・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸=一般機械器具製造業)。 ・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
### おかける   ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えたいところだが、先行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 一般小売店[家電])。・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。  ・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国 = 乗用車販売店)。・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。 ・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。・新規求入数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
を行きの不透明さから、消費者の買い控えに対抗するような強気な商売ができない(北関東 = 一般小売店[家電])。 ・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。 ・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国 = 乗用車販売店)。 ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。 ・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。 ・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
できない(北関東 = 一般小売店[家電])。 ・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国 = 住宅販売会社)。 ・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国 = 乗用車販売店)。 ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。 ・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。 ・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職		家計		
・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(中国=住宅販売会社)。 ・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国=乗用車販売店)。 ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。 ・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸=一般機械器具製造業)。・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職		動向		
宅販売会社 )。		関連		\$ 1.1.1
・エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる(四国 = 乗用車販売店)。 ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北=広告業協会)。 ・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。 ・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
田 = 乗用車販売店)。 ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。 ・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。 ・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しがみえている(東北 = 広告業協会)。 ・1 ドル 90 円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95 円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。 ・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
<ul> <li>先行き</li> <li>企業</li> <li>動向関連</li> <li>・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。</li> <li>・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。</li> <li>・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。</li> <li>・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職</li> </ul>				
<ul> <li>・1ドル90円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。</li> <li>・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。</li> <li>・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。</li> <li>・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。</li> <li>・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職</li> </ul>				
(行き) (中びない大きな原因である。95 円まで戻ることを期待している(北陸 = 一般機械器具製造業)。 ・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職	4			
・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職	先   行			
・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職	ㅎ	企業		· ·
関連 料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国=鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿=食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
となっており、先行き不透明な状況は変わらない(中国 = 鉄鋼業)。 ・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込めない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職		12.72		
ない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
他社との差別化を図るしかない(近畿 = 食料品製造業)。 ・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海 = 職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでにはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまで 雇用 にはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。 関連 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
雇用 にはまだ時間を要する(東海=職業安定所)。 関連 ・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職				
関連・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職		雇用		
				をあきらめていた層が戻ってきた感もある。ただし、正社員の求人倍率は低く、すぐに
は改善が見込める状況ではない(近畿=職業安定所)。				

図表19 現状判断の理由別(着目点別)回答者数の推移



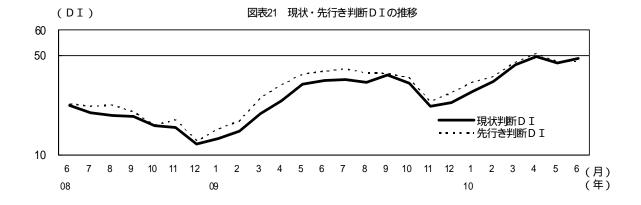
# 1. 北海道

	分野	判断	判断の理由
			・格安ツアー商品の販売量だけが伸び、定価商品の販売量が減少しているため、客単価の低
			下に拍車がかかっており、利益が低下している(観光型ホテル)。
	家計		・気温が例年以上に高いこともあり、ワンピース、ブラウス、カットソーといった夏物商材
	動向		の動きが非常に良くなっている(百貨店)。
	関連		・前年比で比べると前年を下回っている状況にあり、エコポイント制度の効果の反動が続い
			ている。ただ、月後半になり、天候、気温とも良くなったことから、白物家電の動きが良
			くなっている(家電量販店)。
			・住宅の建築確認申請件数及び建築着工率が思ったより上昇しておらず、販売量及び受注量
			が前年並みとなっている(金属製品製造業)
	企業		・ここしばらくは取引先や当社の業績推移からやや良いとの印象だったが、3か月前の業績
	動向		や当時策定の計画と比較するとやや低調に推移している。また、取引先からは上期業績に
現状	関連		対して慎重な発言が目立つようになり、景況感は楽観できない状況にある (通信業)。
状			
		×	・依然として不動産の売買、建物の新築などが少ない(司法書士)。
			・前年と比較して、求人数は正社員、パートの総数で2割ほど減少している。求人数の動向
	雇用		をみると、大きな変化はないが、相変わらず正社員の求人は少なく、加えて採用基準が高
	関連		くなっており、並みのスキルの人材では採用されない傾向がうかがえる(人材派遣会社)
	为压		・新規求人数は前年から 17.4%増加し、4か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は
			前年から 12.7%増加し、 4 か月連続で前年を上回った(職業安定所)。
	その他の特徴		:前年と比較して天候が良いため、夏型商品を中心に売上が増加している。5月は天候不
			順の影響で観光地や、第1次産業での不振により売上が低迷したが、そういったマイナス
	コメン		要因が今月に入って好転している(コンビニ)。
			: 北海道でも口蹄疫の問題でイベントが中止になっており、レストランの来客数が減少し
	/\ =7	Mathe	ている ( 高級レストラン )。
	分野	判断	判断の理由
			・多少販売戸数が増加しても、あまり喜べない。依然として販売価格の下落傾向が続いてい
	家計		るが、建築コストの低下がそれに追いついておらず、今の傾向が続く限り、企業が存続す
	動向		るために必要な利益を確保することは難しい(住宅販売会社)。
	関連		・先行受注額を前年比でみると、7月は国内旅行が前年比 110%、海外旅行が同 108%、8 月は国内旅行が前年比 85%、海外旅行が同 104% となっている。国内旅行はやや弱含みだ
			対は国内派打が削牛に 85%、海外派打が同 104% となっている。国内派打は 7 で弱さみた   が、海外旅行が好調のため、今後についてはやや良くなる (旅行代理店)。
4.			・高速道路の一部無料化により、輸送業者の集配にどのような影響が出るか判断できない部
先行	企業		分もあるが、これまでのようなジャストインタイムは困難になる(輸送業)。
1J き	動向		・4~6月と例年、販売が好調なこの時期に低迷しているため、販売量が落ち込む夏場は更
	関連		に悪くなる(食料品製造業)。
	雇用		・今年3月から求人件数に少しの回復傾向があったものの、今月は求人数の伸びが鈍化して
	関連		おり、一服感が出ていることから、今後も変わらないまま推移する(求人情報誌製作会社)。
		ı	: 中国人の観光ビザ要件緩和に加えて、国内の景気向上等により、観光客が増加傾向に向
	その他	の特徴	かう。ただし、国内観光客の動きはまだまだ鈍い(観光名所)。
	コメン		× :環境対応車への補助金制度が9月に終了するが、商品の供給が間に合わないため、制
			度終了前の駆け込み需要が見込めない(乗用車販売店)。



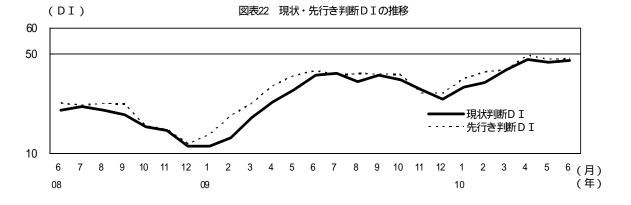
# 2 . 東北

	分野	判断	判断の理由
	71 = 1	736/1	・サッカーワールドカップの影響で若干来客数が減少しているものの、それを差し引くと変
			・ グラカープ・ルトカラブの影響で名下水音数が減少しているものの、でれて差し引くこと ・ 化がない状況である(一般レストラン)。
	家計		・子ども手当の支給により、限定的ではあるが子育て世代の消費動向がプラスに動いている
	動向		(スーパー)。
	関連		・閉店セールでにぎわった百貨店に出店するデリカショップの動きは良かったが、ホテルの
	KILE		
			型ホテル)。
			・競争相手と比較しても、春先に見られた上向き傾向は弱まり、前月並みの水準で推移して
	企業		いる(電気機械器具製造業)。
	動向		・4~6月の販売量が伸びており、前年比150%となっている(通信業)。
現状	関連		・官公庁の入札では各社が極端な低価格で応札しており、受注額は3か月前を下回っている
1/			(広告代理店)
			・決算期を終え、減収減益の企業が多く、雇用促進につながる動きは見られない(新聞社[求
	雇用		人広告 ])。
	関連		・雇用調整による休業などの実施件数が減少している。休業を実施している企業でもその規
			模は縮小傾向にある(職業安定所)。
			:自治体のエコカー購入補助制度の終了が近づき、駆け込み需要が見られる(乗用車販売
	その他の特徴		店)。
	この他		: ボーナス時期にみられるようなにぎわいがなく人出が普段の日と変わらない。また、サ
			ッカーワールドカップを家で観戦する人が多いため、サッカー不景気という言葉が囁かれ
		-1.1.1	るほど繁華街に人が出てこない(一般小売店[医薬品])。
	分野	判断	判断の理由
	家計		・エコカー購入補助金が終了する9月まで、現在の状況が続く(乗用車販売店)。
	動向		・高速道路無料実験開始により、個人客の増加が見込まれるものの、団体客の回復には時間
	関連		がかかる(観光型旅館)。
	A 311/		・当面は新築工事の受注は低迷し、リフォーム工事が中心となる(建設業)。
	企業		・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆し
先	動向		がみえている(広告業協会)。
行き	関連		・急激な円高や、エコカー購入補助金終了の反動による受注減少が懸念される(一般機械器
-	<u> </u>		具製造業)。
	雇用		・自動車関連企業が生産設備を増強しているため、若干の雇用改善は期待できるものの、効
	関連		果が現れるのはまだ先である(新聞社[求人広告])。
	7.0.11	<b>☆ #+ /#</b> L	:春の天候不順により桃の生育が遅れ、販売時期がお盆時期にずれ込む予定となっており、
		の特徴	注文数の減少や単価の低下が懸念される(農林水産業)。
	その他 コメン		



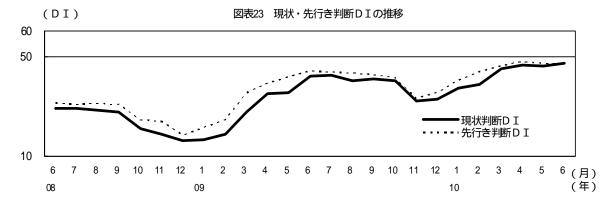
# 3 . 北関東

	分野	判断	判断の理由
			・社員旅行や研修旅行等の受注が少なく、個人客も見えないところで旅行をしているよう
			で、思うように受注が伸びて来ない。悪くはなっていないものの、3月くらいと比べると
			結局のところ変わりがない(旅行代理店)。
	家計		・今年の梅雨は高温多湿のため、エアコンが好調に動き出した。しかし、地上デジタル放
	動向		送対応テレビや前年好調だった冷蔵庫などのエコポイント商品が不振で、前年比をクリア
	関連		するのが厳しい状況である(家電量販店)。
			・ポイントの販促での効果があったこと、梅雨でも日中の降雨が少なく天候に恵まれたこ
			とにより、客数が5%、売上も3%ほど増加した。子ども手当は実感できるほどのプラス
			要因にはなっていない(スーパー)。
			・受注はある程度増えてはいるが、価格を下げられているので、売上では横ばいかやや低
現	企業		下気味と取引先が話している(金融業)
状	動向		・飛び込みの仕事などもあり、忙しくなってきている。まだまだ売上的には低空飛行が続
	関連		いているが、全般的に動き出した感がある(電気機械器具製造業)。
		×	・相変わらず主力の客先からの受注が伸びていない(電気機械器具製造業)。
			・求人広告誌で募集する企業が多少増えてきたものの、福祉、医療、サービス、流通など
	雇用		が多く、まだまだ周辺企業では景気の低迷が続いている(求人情報誌製作会社)。
	関連		・6月の新規求人数は26日の段階で前年同月を上回っている。求人内容はあまり良くなっ
			てはいないが、先月あたりから製造業の派遣の求人が増加している(職業安定所)
		l	: 多少引き合いは出て来てはいるが、成約するのはほんのわずかである。まだまだ回復
	その他の特徴		の雰囲気にはなっていない(化学工業)。
			: 相変わらず賃金の安い海外で物を作る動きが進んでおり、それが戻ってくることはな
			い(一般機械器具製造業)。
	分野	判断	判断の理由
	호텔		・エコカー減税、補助金の駆込み需要で現在の販売量が推移しているので、補助金制度終
	家計 動向		了後が怖い。2~3か月後は変わらない(乗用車販売店)。
	関連		・来客数の落ち込みが続いていることに加えて、資料請求数が前年比 50%以上の落ち込み
	闭连		となっている(住宅販売会社)。
			・各業種とも新たな設備投資計画が見られず、資金需要の背景は相変わらず赤字補てんが
	企業		数多く見られる状況にある(金融業)。
	動向		・メーカーの国内販売はさほどではないが、北米、中国への輸出が非常に好調に推移し、
先	関連		今後もそれが維持される。エコカー購入補助金の終了以降を心配しているが、3か月イン
先行き	为迁		フォメーションを見ると、高水準の受注を維持しているので、引き続き景気は上昇傾向に
ਣ			入っていると見ている(輸送用機械器具製造業)
	雇用		・中小企業を中心として求人、採用への意欲が低く、特に正社員に関して顕著である。窓
	関連		口に訪れる求職者の動きに落ち着きが表れてきているが、企業側の受け入れは狭いままの
	IXIZE		状態である(職業安定所)。
1	1		: プレミアム付き商品券の有効期間も間近となり、子ども手当等による効果も出始めて
	その他	の特徴	いるので、多少期待が持てる(一般レストラン)。
	その他 コメン	の特徴 ト	: ボーナスシーズンの割に商品の動きは鈍い。猛暑を期待して季節商材の在庫を抱えた



# 4 . 南関東

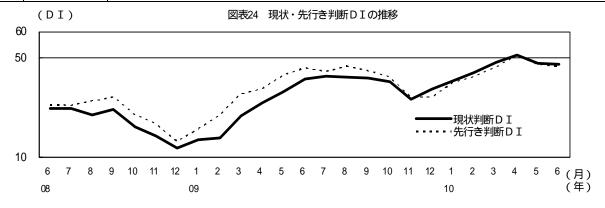
	分野	判断	判断の理由		
		7 5	・天候の関係や、サッカーワールドカップのため、テレビを置いていない当店では来客数		
			が時間的に引いた時期もあった(スナック)。		
			・価値と価格がリンクしていれば、ついで買いとはいえ、まとめ買いをする傾向が強くな		
	家計		っている(衣料品専門店)。		
	動向		・建物の計画及び土地の動き等について、動きが出てきたような気がしたが、途中でぱっ		
	関連		たりと消えてしまい、後ろ向きになった感じである(設計事務所)。		
			・梅雨入りにより、月半ばから毎週末、降雨予報で客足が鈍っている。景気回復となるよ		
		×	うな気配も無く、レジャー産業には厳しい状況が続いている(遊園地)。		
			・住宅関連部品、化粧品容器の受注は比較的回復してきているが、ピーク時に比べると8		
	^₩		割程度である。何とか経費を節約し、粗利を搾り出している(プラスチック製品製造業)。		
	企業		・発注量が少ないところに更に発注単価が下がっているため、デフレスパイラル的な要素		
現状	動向 関連		が非常にある。これから先、回復する見通しはまだまだ遠い(輸送業)。		
1/\	判理		・受注が毎月5%ずつ増えている。建機関係もようやく動き出した感がある(精密機械器		
			具製造業)。		
			・どの企業も経費削減で直接雇用を最小人数で運営しているが、給与の減少等で離職する		
			人も増えている。労働者派遣法改正をにらみ、発注を差し控えていた企業も、欠員の穴埋		
	雇用		めを派遣スタッフで乗り切ろうとする動きがやや活発になってきている(人材派遣会社)。		
	関連		・求職者数は3か月前と変わらない数字である。日々相談に訪れる求職者数も、人数が多		
			く変わらない(職業安定所)。		
	その他の特徴コメント		: 製造業、メーカーの得意先が多いが、良い人がいれば採用するということで、実際そ		
			ういう動きになりつつある(民間職業紹介機関)。		
			: 例年の6、7月は中元向けの売出しなどの仕事が多くあったが、近年はそのような仕		
			事は大変少なくなり、活況が無くなっている(出版・印刷・同関連産業)。		
	分野				
			・エコポイント効果は一巡したが、冷夏で昨年不振であったエアコンに期待ができる(家		
	家計		電量販店)。		
	動向		・消費税の増税問題や政治が不安定なうちは消費者の安心は得られず、結果、子ども手当		
	関連		等の対策を行っても貯蓄に回り、レジャーへの消費は控える傾向が続く(その他レジャー		
			施設 [ ボウリング場 ])。		
	企業		・本業に関連している建設や不動産関係の動きが悪いので、現状維持という感がある(そ		
	動向		の他サービス業 [ ビルメンテナンス ])。		
4	関連		・近隣の倉庫の空き物件が増えており、相場も2~3割落ちているが、なかなか埋まらな		
先行	IXIXE		い。客に情報を流してもほとんど反応が無い。業界的にまだ上向いていない(輸送業)。		
동	雇用		・一般の新規求人数はやや増えている。しかし、新規求職者数が前年同月とほとんど変わ		
	関連		らずに高水準で推移していることや、新規高卒求人の出足が鈍いことから、景気が良くな		
	为廷		るとまでは考えづらい(職業安定所)。		
			:7月の内示を見ると、今月よりもまた少し良くなっているような受注量になっている。		
			8月は毎年休みの関係で落ちるが、9月もこれなら行けるのではないかという印象である		
	その他	の特徴	(一般機械器具製造業)。		
	その他の特徴 コメント		:8月に花火大会とふるさと祭りの2大イベントがあり、売出しも計画されているので		
	コメン	'	来客数の大幅増を期待している。しかし、花火大会の寄付金や祭りの花代は年々減ってき		
	コメン	'	来客数の大幅増を期待している。しかし、花火大会の寄付金や祭りの花代は年々減ってきている。商店会のイベント運営が厳しい状況にあるが、地域の活性化のためにも頑張りが必要である(商店街)。		



# 5 . 東海

(良、 やや良、 不変、 やや悪、×悪)

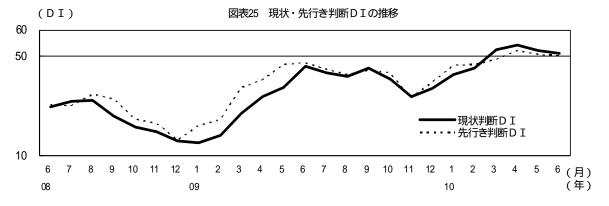
	分野	判断	判断の理由
			・ボーナスが出ている会社もあり、繁華街の人出は増えると思われたが、増えたのはサッ
			カーのユニホームを着た若者だけである。サッカーワールドカップが始まってからは、繁
			華街は逆に静かになってしまい、予想以上の影響を受けている(スナック)。
	家計		・中元の早期受注期であるが、早期割引に対して受注が増えた例年とは異なり、安いだけ
	動向		では反応しなくなっている。人々は付き合いの範囲を狭め、中元を控えている(一般小売
	関連		店 [贈答品])。
			・9月でのエコカー補助金終了が大きく報道されているため、駆け込みの来客や商談が多
			くなっている。ただし、ほとんどが減税対象車種の商談で、客は減税率も気にしている。
			ハイブリッド車を除くと小型車が中心で競争も厳しく利益確保は難しい(乗用車販売店)。
			・前年同月と比べると良くなってきているものの、数か月前と比べれば、受注の伸びは落
			ち着いてきている(電気機械器具製造業)。
	企業		・せっかく引き合いがあっても、低価格化が止まらず、利益確保ができないため、受注判
現状	動向		断が悩ましい(金属製品製造業)。
1/1	関連		・受注量は、リーマンショック前の9割ほどにまで回復している。残業なしではこなせな
	闭廷		い仕事量で、土曜日出勤も復活している(窯業・土石製品製造業)。
		×	・原材料価格は値上がりしているのに対して、受注価格は低下している(金属製品製造業)。
			・採用を抑制してきた企業が、受注増に伴う業務繁忙等により、優秀な人材の獲得に動き
	雇用		始めている(人材派遣会社)。
	関連		・4月以降、新聞の求人広告量は、前年同月比 90%を超えるようになっている。底打ちし
			ている(新聞社[求人広告])。
			: パソコンの夏モデルが出そろったが、販売台数は伸びていない(家電量販店)。
		の特徴	:建設業者では、特に鉄筋、鉄骨といった建設資材の価格の値下がりと同時に、工賃単
	コメント		価もかつてない水準にまで低下し、値下げ競争がし烈である。企業の業績悪化が多数見ら
	/\mz	判断	れる(会計事務所)。 判断の理由
	分野	ナリビ川	・今年も残暑が厳しいと聞いており、客は季節を先取りして購入することを控える。その
	家計		・ラーも残者が厳しいと聞いてあり、各は字即を元取りして購入することを控える。その一ため、秋物の販売時期はずれ込む(衣料品専門店)。
	動向		・例年ならば6月15日以降に中元の注文が入るが、今年はこれまで全く注文がない。中元
	関連		は年々減少しているが、今年は特にひどく、今後は一段と厳しくなる(コンビニ)。
			・北米やアジアの自動車産業では、設備投資意欲がおう盛である。しかし、円高が続いて
	企業		おり価格競争力が低下しているため、引き合いは多くても、なかなか受注できないか、非
	動向		常に厳しい価格での受注が続いている。今後も、現状が続く(一般機械器具製造業)。
先行	関連		・低価格競争が進み、客の取り合いになっている。同業者が廃業する話も耳にするが、今
行   き	1272		後もこの状態は続く(印刷業)。
٦	<b></b>		・新規求人数はわずかながら前月を上回っているものの、内容を見ると、パートや契約社
	雇用		員の求人が多い。正社員求人の比率は上昇しておらず、雇用環境の改善を実感するまでに
	関連		はまだ時間を要する(職業安定所)。
	IXIZE		
	IXIZE		: 取引先によると、今期の生産数量が来年3月まで続くとのことである(輸送用機械器具
		D 4+ /mL	
	その他	の特徴	: 取引先によると、今期の生産数量が来年3月まで続くとのことである(輸送用機械器具
			:取引先によると、今期の生産数量が来年3月まで続くとのことである(輸送用機械器具製造業)。



# 6.北陸

(	( 良.	やや良、	不変、	やや悪、	<b>×</b> 悪)
,	LX	1- 1- FK/	11.22	1- 1- 10A	<b>ハ</b> ルノ

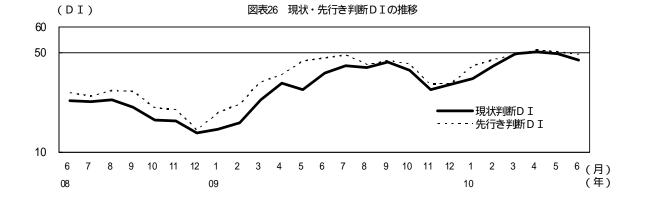
	分野	判断	判断の理由
	家計		・テレビの販売台数は伸びているが単価下落が激しい。高付加価値商品の売れ行きが悪く なっている(家電量販店)。
	動向関連		・土地の販売が動き、さらに住宅を建てる動きが以前と比べて出てきている(住宅販売会社)。
	判定		・6月に入りレストラン利用客が減少し、夜は閑散としている。宴会や宿泊の利用客の減少もあり売上は前年を大きく下回っている(観光型ホテル)。
	企業		・引き続き価格は非常に厳しいが、数量ベースでは、従来品、新製品とも増加傾向にある(電気機械器具製造業)。
現状	動向関連		・住宅市場は回復が見られず、3か月前、6か月前とほとんど変わらない状況が続いている(プラスチック製品製造業)。
	闭连	×	・受注価格競争が依然として、し烈である。特に大手業者の低価格競争への参入が目立ってきた (建設業)。
	雇用 関連		・派遣・紹介求人とも退社社員の交代要員ばかりで増員によるものはほとんどない (人材派遣会社)。
	闭廷		・製造業の求人が前年同月と比較し増加し、新規求人数が増加した(職業安定所)。
	その他の特徴コメント		:地元の商工会議所が 10%のプレミアム付き商品券を発行し、その券を利用する客が出てきている(美容室)。 :取引先のなかで、製造業や販売業では量的な面では前年より回復しているが、売上は円高の影響もあって、伸びていない(税理士)。
	分野	判断	判断の理由
	家計 動向		・9月までは、販売は現況の通り比較的良好に推移していくが、受注は次第に厳しくなってくる (乗用車販売店)。
	関連		・地元の企業や金融機関の業績が回復しつつあり、全般的に弱含みながら安堵感が広がり つつあるように思え、取引深耕が緩やかに進む(通信会社)。
先行	企業 動向		・1 ドル 90 円前後で推移しており、海外の依存度が高い当社にとって海外からの受注が伸びない大きな原因である。95 円まで戻ることを期待している (一般機械器具製造業)。
き 	関連		・個人向け取引は少しずつ良い動きが出てきている。法人取引は一部ではあるが良い話が 聞かれるようになってきた(不動産業)。
	雇用 関連		・仕事量の回復があっても、多数の企業は新たな従業員雇用にかなり慎重である(民間職 業紹介機関)。
	その他 コメン	の特徴 ト	: 夏休みの予約も例年より遅く、宿泊料金の安価な商品しか売れていない(観光型旅館)。 : 一部の製造業では受注が増加しているようだが、地域の中小企業の業績が振るわない ため、ボーナス商戦も盛り上がりを欠くと予想される (スーパー)。



# 7. 近畿

(良、 やや良、 不変、 やや悪、×悪)

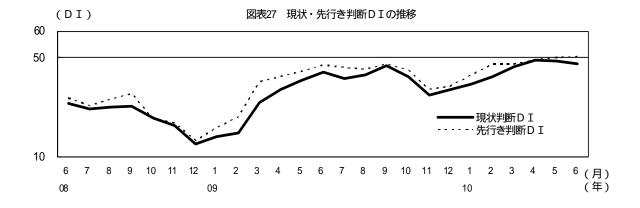
	分野	判断	判断の理由
			・新築マンションの購入希望者は、ゴールデンウィークの前後に少し改善の動きがみられ
			たが、今月に入って停滞感が少し出てきている。経済情勢に変化が起きつつあるため、
			企業決算などが良くなっても先行きへの不透明感が高まっている(その他住宅「情報
	家計		誌 ]。
	動向		・先行クリアランスがスタートしたが、予想された開店待ちの列がほとんどなく、客の反
	関連		応は非常に鈍い。これには平常時の値引き販売が増えている影響もある(百貨店)
			・平城遷都 1300 年祭の記念事業が次々と行われており、観光客が確実に増加している(観
			光型ホテル)。
			・今年度の公共工事の注文が出てきており、夏休み時期の受注も動き出している(金属製
	A 311/		品製造業)
現	企業		・取引先の業種による差があり、前年比で売上がマイナスの業種も出てきている。原料価
状	動向		格との差益でここ数か月はもうかっていたが、逆転現象が顕著になっている(化学工業)。
	関連		・当社の顧客には原子力発電や造水装置関連の企業が多く、設備投資が活発化している(一
			般機械器具製造業)。
			・失業保険の受給資格決定件数が減少傾向にあるほか、求人数が増加傾向となっている(職
	雇用		業安定所)。
	関連		・第1四半期を終えたが、求人動向に目立った動きはみられない(新聞社[求人広告])。
		<u>I</u>	
			サッカーワールドカップの観戦による影響か、ドリンク剤や眠気覚ましの商品は動いて
		の特徴	いる(その他専門店「医薬品」)。
	コメント		: エコポイント制度の変更に伴い3月に駆け込み需要が生まれたが、その反動による販
			売量の減少が続いている。天候不順で季節家電の売行きも低調である(家電量販店)。
	分野	判断	判断の理由
	家計		・携帯電話市場はスマートフォンのけん引で加熱しているようにみえるが、特定のヒット
	動向		商品以外は振るわず、有力な対抗機種もまだ見当たらない(通信会社)。
	関連		・子ども手当の支給によって少し良くなる(その他飲食 [ ファーストフード ])。
			・設備の買換え需要が乏しく、メーカーの間では修理の需要が高まっている。企業が設備
	企業		投資に資金を回せない状況は今後も続く(金融業)。
	動向		・少しは持ち直してくるものの、今の販売価格は他社に負けているため、売上増は見込め
	関連		ない。販売価格を落とせば利益も減るという悪循環に陥るため、原料、資材の見直しや、
先行			他社との差別化を図るしかない(食料品製造業)。
行き	雇用		・新規求職者が若干減少しているものの、パートでは中高年の求職者が増えるなど、就職
2	関連		をあきらめていた層が戻ってきた感もある。ただし、正社員の求人倍率は低く、すぐに
			は改善が見込める状況ではない(職業安定所)。
			:食品中心に来客数や販売点数、1品単価が改善し、その噴水効果によって衣料品、住
			関連も堅調な売行きが維持できそうである。ただし、口蹄疫の影響で牛肉の購入意欲が
	その他	の特徴	低下気味であるほか、相場高とも重なって、牛肉の売上が前年比で 15%程度悪化してい
	コメン		る点が懸念される(スーパー)。
			:住宅展示場への来場者の傾向をみると、低価格志向の来場者が増え、全体的に建築予
1			算が減少傾向にある。政府の更なる景気刺激策がなければ、住宅需要の盛り上がりは長
			続きしない(その他住宅 [ 展示場 ])。



## 8.中国

( 良、 やや良、 不変、 やや悪、×悪)

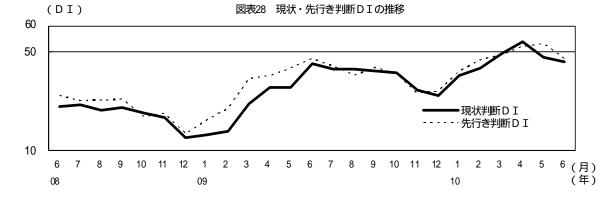
	分野	判断	判断の理由
			・セールによって来客数の増加を図っているが、引き続き単価については厳しい状況が続いており、単価の低下分を来客数の増加でカバーしている状況である(衣料品専門店)。
	家計動向		・少し前までの消費が冷え切っているという状態ではない。子ども手当が支給され、その 影響が若干あることから、売上は前年ベースで見ると底を打った感があるものの一部にと どまっている(商店街)。
	関連		・例年6月は梅雨時期で閑散期であるが、今年は団体、個人とも好調に推移し、例年を上回る売上で推移している。特に婚礼部門の伸びが大きく、個人客の利用も堅調で、飲料部門も順調であった(観光型ホテル)。
	V 7117		・工場の生産量は少し上向きつつあるが、生産調整は依然として続いている(化学工業)。
現状	企業 動向		・リーマンショック前の水準の9割程度まで回復してきている。先行きは欧州経済の動向など不透明感があるが、直近はまずまずの景況感である(輸送用機械器具製造業)。
	関連		・受注価格、販売価格共に低下してきている(食料品製造業)。
	雇用 関連		・新規求人は5か月連続で前年同月を上回った。製造業は8割増となり、特にハードウェア製造関係の増加が目立ったが、中長期的な見通しが立たないことから、臨時求人にとどまり、常用求人の提出には至っていない(職業安定所)。
			・正社員の求人が少しずつ増加している(求人情報誌製作会社)。
	その他の特徴コメント		: 商品の比較に慎重で、他店との価格の比較等に研究熱心な客が多くなり、財布のひもが固いこともあって、買上までに時間を要している(家電量販店)。 : 景気の問題ではなく口蹄疫の影響だと思われるが、精肉、特に和牛が 8 ポイントも落ち込んでおり、単価の張る食材なので厳しくなっている(スーパー)。
	分野	判断	判断の理由
	家計 動向		・来客数、受注量は持ち直しているが、金額面は総額、単価共に低下している(住宅販売 会社)。
	関連		・エコカー購入補助金の駆け込み需要が今しばらくは続く(乗用車販売店)。
	企業 動向		・アジア向けなどを中心とした需要に支えられ、生産量は堅調に推移しているものの、原料価格が高騰している。鋼材価格への転嫁を図っているが、更なる価格高騰が懸念材料となっており、先行き不透明な状況は変わらない(鉄鋼業)。
先行	関連		・海運部門の内容が非常に良くなってきている。現在のところ、今年いっぱいは良い状況 を見込んでおり、これにけん引されて他部門も良くなる (輸送業)。
138 138	雇用 関連		・新規求人の総数は増加傾向にあるが、臨時求人の割合が高く、求人提出時期の様子見など、企業の採用意欲はまだ充分といえず、本格的な求人増加にはなお時間がかかる(職業安定所)。
	その他の特徴 コメント		: 夏季イベント実施、高速道路無料化実験に伴う来園者の増加が見込まれる(テーマパーク) ーク) : 7月も6月並みの生産量を見込み、雇用調整の計画も継続の見込みである。ただ、高 炉改修向けの大口受注が見込まれ、秋口からは生産量増加となる(窯業・土石製品製造 業)



# 9. 四国

(良、 やや良、 不変、 やや悪、×悪)

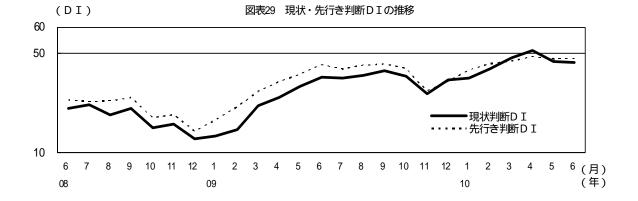
	分野	判断	判断の理由
	家計 動向 関連		<ul> <li>・子ども手当の支給月であり、どの程度消費に回るかと期待していたが、直接消費に結びつくことはなかった。また、サッカーワールドカップの影響で外食産業は影響が出ているようである(スーパー)。</li> <li>・受注額、売上額とも減少傾向に歯止めがかからない。低価格での受注が恒常化しており、利益も上がらない(設計事務所)。</li> <li>・6月中旬までは、これまでと同様に思わしくなかったが、中旬以降は、地方公務員や銀行のボーナス支給や子ども手当の支給などが関係しているためか、持ち直しが感じられる(衣料品専門店)。</li> </ul>
現状	企業 動向 関連	×	・以前から継続受注していた商材でも、価格引下げ、またはキャンセルが発生しがちである。クライアント側のコスト削減の意志は非常に強い(広告代理店)。 ・6月以降は小売店でも発注が増加しているところも多くなり、多少景気が上向いている。ただし、支払が遅延するところも見られ、格差が出ている(繊維工業)。 ・販売数量が伸び悩んでいる(食料品製造業)。 ・工業製品原料の輸送数量が2~3月と比較し80%と、減少傾向にある。また、原油価格
	雇用関連		高騰により、軽油の仕入価格が前年同月比で13.3円上昇している(輸送業)。 ・余剰人員を抱えている企業はまだまだ多く、配置転換、グル・プ内での転籍等で人員をまわそうとしている。従って、中途・新卒ともに採用を控える企業が多い(民間職業紹介機関)。 ・企業の人員調整が進み収益が出る経営体質に戻りつつあり、採用を再開する動きが出始めている(人材派遣会社)。
	その他の特徴コメント		: 口蹄疫の影響により、宮崎県向けの飼料運搬がストップしたが、全体でのウェイトは小さいため、影響は軽微である(輸送業)。 : テレビは販売台数では前年比 115%であるものの、単価については前年比 75%と落ち込んでいる。冷蔵庫についても 86%ということで、非常に厳しい数字となっている(家電量販店)。
	分野	判断	判断の理由
	家計動向		・夏のボーナスは、回復する企業もあろうが、中小企業ではまだ厳しい状況にあると思う。 販売単価の安い企業へのシフトが更に進んでいく(一般レストラン)。 ・安くないと売れない時期から脱しつつある。ただ、選別の目は更に厳しくなってきてい
	関連		る。買い控えているだけで買えないわけではない。価値を理解してもらえた物は売れてい る(コンビニ)。
先行き	企業 動向		・国内向けの受注が依然として厳しい。欧州、米国など海外向けの受注も大きく伸びる見込みが立たない(一般機械器具製造業)。 ・更なるコスト削減を求めて商談件数が増加している。受注競争が厳しく、手放しで喜べ
	関連		る状況にはないが、幾分かの販売量増加が期待できる(通信業)。
	雇用 関連		・賞与時期に入っているが、前年を下回るという企業が多く、とてもではないが、設備投 資や従業員を増やそうという声はあまり聞かれない(民間職業紹介機関)。
	その他 コメン		: エコカー購入補助金制度が9月で終了することになるので、自動車販売が落ちてくる (乗用車販売店)。 : 製造業を中心とした雇用調整が、他産業へも波及しつつある(職業安定所)。



# 10.九州

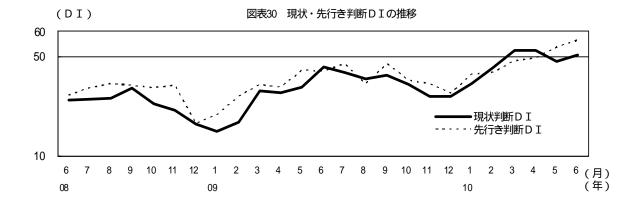
(良、 やや良、 不変、 やや悪、×悪)

	分野	判断	判断の理由
		, ,,	・豪雨などの影響で来客数が伸びず、物産催事や父の日ギフトへ大きく響いた。一方、文
			化催事は大きな反響があった。再来場者数も多く、物販も好調であった。また中元ギフト
	家計動向関連		内見会も好調で、ギフトへの手ごたえは感じられた(百貨店)。
			・口蹄疫問題で依然として各種イベントの中止や延期が拡大している。終息するまではイ
			ベントの自粛を促されている状況であり、厳しい(テーマパーク)。
			・エコカー補助金制度の期限が9月に迫り、新車販売において駆け込み需要が発生してい
			る。新車の受注、販売が好調に推移し、全社の収益を押し上げている(乗用車販売店)。
			・中小企業の資金調達は、設備向けの調達でなく、過去に調達した資金の折り返し資金の
			申込が大半であり、現状維持の状況は続いている(金融業)。
	企業		・官公庁の発注が増加傾向にあり、3か月前と比べると随分良くなっている。ただし、競
IB	動向		争は激化し、受注できる業者とできない業者の差がはっきりしている(建設業)。
現状	関連		・受注が全く増えない。取引先も在庫の縮小ばかりで新しい物が出てこない。取引先が縮
- 1			小傾向にあるため、こちらも同じ方向に向かわざるを得ない。お願いもできない状況にあ
			る(繊維工業)。
			・平成 23 年 3 月卒業対象者向けの求人は、極めて低調なままである。就職環境が悪化した
	雇用		状況は、これまでと変わらない(学校[大学])。
	関連		・新規求人数のうち一般求人は前年比で2か月連続、パート求人は7か月連続で増加して
			いる。3か月前と比べて一般求人数の伸びが大きく、やや良くなっている(職業安定所)。
	ļ		:特に海外旅行の動きが良くなっている。国内旅行では九州内の動きはまずまずである。
	その他の特徴コメント 分野 判断		ただし、口蹄疫の影響か、九州域外からの入込が悪くなっている(旅行代理店)。
			:梅雨ということもあり、6月は4、5月に比べると厳しい月であるが、今年は特に口
			蹄疫の影響もあり本当に厳しい状況である。3、4月が前年以来の悪い状況から抜け出   オ数字が出ていただけに小し残余なところである(農林水産業)
			す数字が出ていただけに少し残念なところである(農林水産業)。 *判断の理由
	万野 判断		判断の理由 ・7月は夏季キャンペーンが本格化し、ある程度市場の盛り上がりに期待されるが、一部
	家計		・・/ 月は夏学キャンペーンが本格化し、のる柱度市場の盛り上がりに期待されるが、一部     人気商品の買換え需要が中心とであり、新規の販売動向は相変わらず厳しい(通信会社 <u>)</u>
	動向		・公共事業に依存した当地域では、県や市の財政が厳しく各方面の仕事が減り、景気回復
	関連		・公共事業に依存した当地域では、集や中の約以が厳しく皆方面の仕事が減り、景気回接     を見込める要素が少ない( その他サービスの動向を把握できる者[ フィットネスクラブ ])。
			・見積案件は多数あるが、全体的に小規模な物件が多くを占めている。銀行の融資も審査
	企業		が厳しく、設備投資する企業や個人も少ない(建設業)。
先行			・半導体関連並びに LED 関連製品の状況が非常に安定しており、今後もこの安定した状況
行     き	関連		が続く。全般的な動きとして非常に活発な動きとなっており、安定した状態が継続する(電
_ C			気機械器具製造業)。
	雇用		・雇用マインドはこのまま推移する。ただ、来年度も就職の決まらない学生が多くなる見
	関連	<u> </u>	込みのため、大量の若年者未就職者が累積していくことは問題である(人材派遣会社)。
	その他の特徴コメント		: 来年3月に計画されている九州新幹線全線開業に向け、駅ビル等の求人が活発に動き
			始める(求人情報誌製作会社)。
			: ようやく町が市になり活気が出てきたと思われたが、口蹄疫の影響で夏祭り等が中止
			になり、景気も変化がない様子である(美容室)。



# 11.沖縄

・販売数の前年割れが続いている。景気は良い状態とは言えないが、前年比は悪いながらも同水準を保っており、大きな落ち込みは無く安定している(通信会社)。 ・貸出台数が前年比106%と増加している。観光舎のレンタカー利用が前年に比べて伸びている(その他のサービス[レンタカー])。 ・エコポイント制度が一巡し、前年比の伸長率が低くなっている。併せてテレビの単価下落が一段と激しくなっている(家電量販店)。 ・例年落ち込み始める時期であるが、受注残があるため船がフル稼働している。特に宮古地区の活況が強く感じられる(輸送業)。 ・別規の派遣依頼や、既存のユーザーからの追加派遣依頼が増えてきている。過去の営業先からの問い合わせ等も含め、全体の売上増が見込まれる(人材派遣会社)。・3か月間で見てみると求人数は増減を繰り返しており、大きな動きは無い(求人情報誌製作会社)。 :6月は売上規模の大きい会員向けの割引企画の開催を見送っているため、店舗全体の売上高の前年比は3か月前とほぼ同水準ながらも、実質的には若干上向いていると考えられる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に改善が見られる(百貨店)。:3か月前と比ぐると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。判断の理由 ・予約の間際化の傾向が強いこともあり、先行きが見えにくい状況ではあるが、沖縄のトップシーズンである7~9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このままのペースを維持できれば、何とかやや良くなる(観光型ホテル)。 「客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買う傾かが高より、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。「個人住宅及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである(窯業・土石製造業)・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。そども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)。アメ人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求人情報誌製作会社)。こ受注量が増える見込みである(食料品製造業)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		分野	判断	判断の理由
家計 も同水準を保っており、大きな落ち込みは無く安定している(通信会社)。 ・貸出台数が前年比106%と増加している。観光客のレンタカー利用が前年に比べて伸びている(その他のサービス[レンタカー])。 ・エコポイント制度が一巡し、前年比の伸長率が低くなっている。併せてテレビの単価下落が一段と激しくなっている(家電量販店)。 ・例年落ち込み始める時期であるが、受注残があるため船がフル稼働している。特に宮古地区の活況が強く感じられる(輸送業)。・公共機関の予算に大きく影響を受けている(コピーサービス業)。 ・8月、9月向けの受注案件が出てきている(通信業)・新規の派遣依頼が 既存のユーザーからの追加派遣依頼が増えてきている。過去の営業先からの問い合わせ等も含め、全体の売上増が見込まれる(人材派遣会社)。 ・3 か月間で見てみると求人数は増減を繰り返しており、大きな動きは無い(求人情報誌製作会社)。 ・6月は売上規模の大きい会員向けの割引企画の開催を見送っているため、店舗全体の売上高の前年比は3 か月前とほぼ同水準ながらも、実質的には若干上向いていると考えられる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に改善が見られる(百貨店)。・3 か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。タ野判断 ・予約の間際化の傾向が強いこともあり、先行きが見えにくい状況ではあるが、沖縄のトップシーズンである7~9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このままのペースを維持できれば、何とかやや良くなる(観光型ホテル)。・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。 ・企業 「個人住宅及び共同住宅連葉を中心に、横ばいの見違してある(窯業・土石製品製造業)・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求人情報誌製作会社)。 ・現代教が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(東		7723	73-71	
一				
別回   別回   いる(その他のサービス [レンタカー]。				
・エコポイント制度が一巡し、前年比の伸長率が低くなっている。併せてテレビの単価下落が一段と激しくなっている(家電量販店)。 ・例年落ち込み始める時期であるが、受達残があるため船がフル稼働している。特に宮古地区の活況が強く感じられる(輸送業) ・公共機関の予算に大きく影響を受けている(コピーサービス業)。 ・8月、9月向けの受注案件が出てきている(通信業) ・新規の派遣依頼や、既存のユーザーからの追加派遣依頼が増えてきている。過去の営業先からの問い合わせ等も含め、全体の売上増が見込まれる(人材派遣会社)。 :6月は売上規模の大きい会員向けの割引企画の開催を見送っているため、店舗全体の売上高の前年比は3か月前とほぼ同水準ながらも、実質的には若干上向いていると考えられる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に改善が見られる(百貨店)。:3か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。 対野 判断 判断の理由 ・予約の間際化の傾向が強いこともあり、先行きが見えにくい状況ではあるが、沖縄のトップシーズンである7~9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このままのペースを維持できれば、何とかやや良くなる(観光型ホテル)。「客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンピニ)。 企業 の人生を及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである(窯業・土石製品製造業)。・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求人情報誌製作会社)。「受注量が増える見込みである(食料品製造業)。・モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合				
落が一段と激しくなっている(家電量販店)。		関連		
世区の活況が強く感じられる(輸送業)				
動向 関連		<u>^₩</u>		・例年落ち込み始める時期であるが、受注残があるため船がフル稼働している。特に宮古
現連		_		地区の活況が強く感じられる(輸送業)。
現 ・8月、9月向けの受注条件が出てきている(通信業) ・新規の派遣依頼や、既存のユーザーからの追加派遣依頼が増えてきている。過去の営業 先からの問い合わせ等も含め、全体の売上増が見込まれる(人材派遣会社)。 ・3か月間で見てみると求人数は増減を繰り返しており、大きな動きは無い(求人情報誌 製作会社)。 :6月は売上規模の大きい会員向けの割引企画の開催を見送っているため、店舗全体の 売上高の前年比は3か月前とほぼ同水準ながらも、実質的には若干上向いていると考えら れる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に 改善が見られる(百貨店)。 :3か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今 月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。  判断の理由 ・予約の間際化の傾向が強いこともあり、先行きが見えにくい状況ではあるが、沖縄のト ップシーズンである7~9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このま 動向 関連 ・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買 う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。 企業 動向 関連 ・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買 う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。 ・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買 う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。 ・客単価の回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加してい る。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)。 ・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求 人情報誌製作会社)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				・公共機関の予算に大きく影響を受けている(コピーサービス業)。
雇用	現	为廷		・8月、9月向けの受注案件が出てきている(通信業)。
関連 ・ 3 か月間で見てみると求人数は増減を繰り返しており、大きな動きは無い(求人情報誌製作会社)。 : 6 月は売上規模の大きい会員向けの割引企画の開催を見送っているため、店舗全体の売上高の前年比は3 か月前とほぼ同水準ながらも、実質的には若干上向いていると考えられる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に改善が見られる(百貨店)。 : 3 か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。	状			
製作会社)。				
		関連		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
売上高の前年比は3か月前とほぼ同水準ながらも、実質的には若干上向いていると考えられる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に改善が見られる(百貨店)。 :3か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。  分野 判断 判断の理由 ・予約の間際化の傾向が強いこともあり、先行きが見えにくい状況ではあるが、沖縄のトップシーズンである7~9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このままのペースを維持できれば、何とかやや良くなる(観光型ホテル)。 ・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。 ・企業 ・個人住宅及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである(窯業・土石製品製造業)。・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)。・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求人情報誌製作会社)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。・モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合				
その他の特徴 れる。このところ厳しい推移となっていた呉服、美術工芸、眼鏡などで売上高の前年比に 改善が見られる(百貨店)。 : 3 か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。				
コメント   改善が見られる(百貨店)。				
: 3 か月前と比べると、稼働率の前年比が若干良くなってきている。しかしながら、今月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。				
月も前年を大きく下回る実績になるとみられ、依然として厳しい(観光型ホテル)。   分野   判断				***************************************
分野   判断				
・予約の間際化の傾向が強いこともあり、先行きが見えにくい状況ではあるが、沖縄のトップシーズンである7~9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このま動向 まのペースを維持できれば、何とかやや良くなる(観光型ホテル)。 ・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。 ・個人住宅及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである(窯業・土石製品製造業)。・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)。 ・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求人情報誌製作会社)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。:受注量が増える見込みである(食料品製造業)。:モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合		/\=7	MATINE	
家計 ップシーズンである7~9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このま まのペースを維持できれば、何とかやや良くなる(観光型ホテル)。 ・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買 う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。 ・個人住宅及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである(窯業・土石製品製造業)。 ・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加してい る。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)。 ・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求 人情報誌製作会社)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合		万野	于小西川	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
動向 まのペースを維持できれば、何とかやや良くなる(観光型ホテル)。 ・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。  企業 ・個人住宅及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである(窯業・土石製品製造業)。 ・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)。 雇用 ・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求人情報誌製作会社)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合		호텔		
関連				-
た行き う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く(コンビニ)。  企業 ・個人住宅及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである(窯業・土石製品製造業)。 動向 ・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業)。 雇用 ・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求人情報誌製作会社)。  その他の特徴 こメント ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合				
		がほ		
・宝国的な宗式回復の兆しもあることで、国内外の観光各も順調に回復、又は増加してい   関連	先	企業		
関連 る。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる(輸送業) 雇用 ・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求 関連 人情報誌製作会社)。 ・受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 ・モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合	行			
雇用 ・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である(求 関連 人情報誌製作会社 》 : 受注量が増える見込みである(食料品製造業 》 : モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合	2			
関連 人情報誌製作会社 》				
: 受注量が増える見込みである(食料品製造業)。 その他の特徴 コメント : モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合				
│ │ │ その他の特徴 │ :モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合 │ □ メント				•
コプント   わせ件数が減少している(建設業)。				



# (参考) 景気の現状水準判断DI

現在の景気の水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 31 景気の現状水準判断DI

(DI)	年	2010					
	月	1	2	3	4	5	6
合計		27.6	30.6	36.4	37.8	37.5	38.4
家計動向関	連	27.3	30.2	36.3	37.2	37.0	37.9
小売関連		26.4	29.8	34.7	35.5	36.5	37.6
飲食関連		26.8	26.8	36.9	33.9	30.6	34.9
サービス	関連	29.7	31.9	39.6	41.9	40.1	40.6
住宅関連	· }	25.6	29.7	35.5	34.6	34.7	32.7
企業動向関	連	28.5	31.9	37.6	39.8	38.4	39.0
製造業		30.7	32.1	39.8	43.7	41.6	42.1
非製造業		26.7	32.0	36.0	36.7	36.1	36.7
雇用関連	•	26.9	30.7	34.7	37.6	38.4	40.5

図表 32 景気の現状水準判断 D I (各分野計)

(DI)	年	2010					
	月	1	2	3	4	5	6
全国		27.6	30.6	36.4	37.8	37.5	38.4
北海道		32.3	36.1	40.4	40.7	40.7	44.1
東北		23.3	27.9	34.8	35.5	36.2	36.1
関東		25.7	28.8	34.0	35.0	37.0	37.4
北関東		24.1	27.1	32.2	33.8	34.4	34.6
南関東		26.8	29.8	35.1	35.7	38.6	39.0
東海		28.2	32.4	35.0	38.9	36.8	38.9
北陸		28.3	28.8	37.3	40.9	38.0	39.3
近畿		27.2	30.3	39.1	39.6	39.0	38.4
中国		30.7	31.8	38.1	38.3	39.8	39.4
四国		30.1	29.5	35.8	40.3	33.4	36.7
九州		28.4	33.5	37.7	38.2	36.1	38.6
沖縄		31.4	31.4	39.6	39.6	37.2	41.1

(注)景気の現状をとらえるには、景気の方向性に加えて、景気の水準自体について把握する ことも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。